

## 2020年度活動報告 CJP授業 : 読解3-4

著者	手塚 まゆ子
雑誌名	関西学院大学日本語教育センター紀要
号	10
ページ	38-38
発行年	2021-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10236/00029336">http://hdl.handle.net/10236/00029336</a>

## 2020 年度活動報告 CJP 授業：読解 3－4

手塚 まゆ子（関西学院大学日本語教育センター）

### 1. クラス概要

本授業は、レベル 3 および 4 クラス（初級後半から初中級レベル相当）の学生を対象とした読解科目である。1 週間に 1 回開講で、クラス目標として、①学習者向けに書かれたさまざまな読み物を楽しんで読めるようになること、②読んだ内容について話し合ったり、感想を述べたりすることができるようになることの 2 つを設定している。教材は、主に日本語学習者用テキスト『中・上級者のための速読の日本語』、『できる日本語準拠 たのしい読みもの 55 初級&初中級』、インターネットサイト『MATCHA-訪日外国人観光客向け Web マガジン』から抜粋したものを使用した。評価は、期末試験 30%、課題 40%、発表 20%、参加度 10%とした。

### 2. 授業内容

授業は、1 回 90 分を①速読、②読み物、③多読の 3 つのパートに分け、実施した。①では、速読用教材を使用し、スキミングとスキミングの練習を課した。②では、学習者用に書かれたテキストを読み、用意された質問に答えながら内容を理解し、意見を述べる活動を行った。③では、各自読みたい本を選んで読み、その本について発表する報告会を 2 回行った。今年度春学期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽オンライン化となり、授業は zoom による双方向型（リアルタイム）で実施し、教材・資料の配布、課題の回収・フィードバック、期末試験は LUNA 上で行った。

### 3. 成果と今後の課題

今年度の授業は、オンライン上でのやりとりとなり、主に通信状態の問題で進度が遅れた。そのため、上記 2 で述べた 3 つのうち、①速読と③多読に充てる時間を減らし、②読み物の活動に時間を割いた。上記 1 で挙げたテキストを中心に、身近な話題を選び、4 コマ漫画、インターネット記事、物語などを取り上げた。テキストの理解は、zoom のブレイクアウトセッションを利用し、ピア学習も取り入れた。

学生のアンケートからは、授業の活動や内容量、練習時間やフィードバックについては概ね満足だったものの、課題の提出については問題があったように窺えた。今期は LUNA での課題の提示と提出であったため、日本語入力などのパソコン操作や LUNA の仕様に慣れるのに時間を要したことが要因であると考えられる。今後、課題を提示する際には、その他の授業での課題量との兼ね合わせ、締め切りの調整など検討し、また、授業時間内での一部課題の実施をすることにより、改善を図りたい。